

～ NPM関連データサービス ～

日本上場株式

Fama-French リバランス時銘柄リスト

①FF3 ②FF3市場拡張版 ③FF5 ④FF5×5

データ仕様書

※本資料は、「日本上場株式 Fama-Frenchリバランス時銘柄リスト」の仕様書です。提供する各種加工データは、信頼できると思われるデータソースから十分な注意を払い、加工・作成しておりますが、その完全性・正確性を保証するものではありません。また、本情報の利用によって生じた直接的又は間接的な損害については、その内容、態様の如何を問わず、弊社はその一切の責任を負うものではありません。

2021年10月

株式会社金融データソリューションズ

～ NPM関連データサービス ～

日本上場株式 Fama-French リバランス時銘柄リスト

①FF3 ②FF3 市場拡張版 ③FF5 ④FF5×5

株式会社金融データソリューションズ

本資料は、「日本上場株式 Fama-French リバランス時銘柄リスト」のサービスで提供される、構成銘柄ユニバースの内容を記載したものです。

このサービスで提供される銘柄リストは、「日本上場株式 Fama-French 関連データ」(本件とは別サービスです)で提供している複数の系列の中で、年 1 回リバランス(ソート月=毎年 8 月末)で計算される下記 4 系列が収録対象となります。

- | | |
|-------------|---|
| ① FF3 | (Fama-French 3 ファクターモデル) |
| ② FF3 市場拡張版 | (Fama-French 3 ファクターモデル 市場拡張版) |
| ③ FF5 | (Fama-French 3 ファクター+ Profitability + Investment モデル) |
| ④ FF5×5 | (5(SIZE)×5(BP)で分割したモデル) |

上記の 4 系列について、1977 年以降(③のみ 1978 年以降)のソート月のリバランス時点(毎年 8 月末)の構成銘柄ユニバース(金融含む&金融除く)を、当該銘柄が属するベンチマーク分類番号、ベンチマーク分類を決めるために必要な個別企業の財務・市場関連データ項目とともに、Excel のリスト形式でご提供します。

次ページ以降、上記①～④の各系列別に、収録項目の定義とベンチマーク分類方法を記載します。

① FF3 (Fama-French 3 ファクターモデル) … 「FF3_Factors」フォルダ

Excel ファイル名

「FF3 リバランス時銘柄リスト_YYYYMM.xls」 (全 44 ファイル)

※ Excel ファイルは年ごとに分かれ、ファイル名の「YYYYMM」に該当年月が入ります。リバランスは常に 8 月末のため、常に「MM」=「08」となります。

※ 各 Excel ファイルは、「金融含む」シートと「金融除く」シートに分かれています (収録項目は同じです)。

収録期間

1977 年～2021 年 (45 年分)

収録項目 (証券コード昇順でソートされている)

	データ名称	単位	項目説明
1	リバランス日付		yyyymmdd 形式。8 月最終証券営業日が入る。
2	FDS 会社コード		会社を表す 7 桁コード。
3	証券コード		4 桁コード。証券コードの変更・再附番などもそのまま収録。
4	銘柄名		「リバランス日付」(項番 1) 時点の銘柄名を収録。
5	FF ベンチマーク番号		1 … Small Low 2 … Small Medium 3 … Small High 4 … Big Low 5 … Big Medium 6 … Big High
6	金融分類		0 … 一般事業会社 1 … 金融会社
7	東証場部		1 … 東証 1 部 2 … 東証 2 部
8	時価総額	[円]	「株価」(項番 9) × 「普通株発行済株式数」(項番 10)。
9	株価	[円]	厚生年金評価価格に準拠した評価株価。
10	普通株発行済株式数	[株]	優先株等の種類株式を除いた普通株ベースの発行済株式数。
11	B/P	[－]	「自己資本」(項番 12) ÷ 「時価総額」(項番 8)。
12	自己資本	[円]	<p>「リバランス日付」(項番 1) 時点で公表されている最新実績自己資本。 1994 年 8 月以前のリバランスは単独実績自己資本、1995 年 8 月以降のリバランスは連結実績自己資本。 2006 年 8 月以降のソート月における連結実績自己資本は、2006 年 5 月 1 日施行の新会社法に対応し、以下の定義とする。</p> <p>連結実績自己資本 = 純資産 - 新株式申込証拠金 - 新株予約権 - 少数株主持分</p> <p>2011 年 8 月以降のソート月において、2011 年 3 月期以降の本決算で IFRS 基準に基づく財務諸表のみを開示した銘柄については IFRS 基準を採用し、実績自己資本を以下の定義とする。</p> <p>連結実績自己資本 = 親会社の所有者に帰属する資本</p> <p>なお、IFRS 基準とあわせて既存の連結会計基準に基づく財務諸表が並行開示された場合は、既存の連結会計基準(日本基準または米国会計基準)を採用する。</p> <p>2017 年 8 月以降のソート月においては会計基準間の優先順位を変更し、IFRS > SEC 基準 > 日本基準 とする。</p>

FF3 のベンチマーク分類方法

ベンチマーク分類方法は、原則、「久保田敬一,竹原均,(2007)「Fama-French ファクターモデルの有効性の再検証」」の論文に従っている。

ソート月(リバランス月) 毎年 8 月末営業日

銘柄ユニバース

タイプ	ソートユニバース	構成銘柄ユニバース
金融含む	東証 1 部(金融含む)	東証 1 部+東証 2 部(金融含む)
金融除く	東証 1 部(金融除く)	東証 1 部+東証 2 部(金融除く)

※ 金融の定義は、東証 33 業種分類で「銀行」・「証券」・「保険」・「その他金融」に属する銘柄とする。

※ また、以下の条件に該当する銘柄は、「ソートユニバース」および「構成銘柄ユニバース」から除外する。

- ソート月の月末営業日(毎年 8 月末営業日)に実績自己資本がマイナス、あるいは N/A の銘柄
- (1995 年 8 月以降のソート月に関して)連結決算を発表していない銘柄
- JREIT、ETF、優先出資証券、上場新株、種類株、監理・整理ポスト銘柄

ベンチマークの分類手順

- (1) 上記の「ソートユニバース」の銘柄群を「時価総額」(項番 8)の小さい順に並べ、時価総額の中央値(Median)を算定。
- (2) 同じく、「ソートユニバース」の銘柄群を「B/P」(項番 11)の小さい順に並べ、30%点、70%点に相当する B/P 値を算定。
- (3) 上記の「構成銘柄ユニバース」に(1)(2)の境界値を適用して、時価総額で 2 分類、B/P で 3 分類、計 6 分類に分け、各ベンチマークに属する銘柄を決定する。

1. 時価総額 \leq (1)の中央値 かつ B/P \leq (2)の 30%点値 → 「**Small Low**」銘柄
2. 時価総額 \leq (1)の中央値 かつ (2)の 30%点値 < B/P \leq (2)の 70%点値
→ 「**Small Medium**」銘柄
3. 時価総額 \leq (1)の中央値 かつ B/P > (2)の 70%点値 → 「**Small High**」銘柄
4. 時価総額 > (1)の中央値 かつ B/P \leq (2)の 30%点値 → 「**Big Low**」銘柄
5. 時価総額 > (1)の中央値 かつ (2)の 30%点値 < B/P \leq (2)の 70%点値
→ 「**Big Medium**」銘柄
6. 時価総額 > (1)の中央値 かつ B/P > (2)の 70%点値 → 「**Big High**」銘柄

1. Small Low (SL)	4. Big Low (BL)	B/P の 30%点値
2. Small Medium (SM)	5. Big Medium (BM)	
3. Small High (SH)	6. Big High (BH)	B/P の 70%点値

時価総額の中央値(Median)

② FF3 市場拡張版 (Fama-French 3 ファクターモデル 市場拡張版)

… 「FF3_Factors_市場拡張版」フォルダ

Excel ファイル名

「FF3(市場拡張版)リバランス時銘柄リスト_YYYYMM.xls」 (全 44 ファイル)

※ Excel ファイルは年ごとに分かれ、ファイル名の「YYYYMM」に該当年月が入ります。リバランスは常に 8 月末のため、常に「MM」=「08」となります。

※ 各 Excel ファイルは、「金融含む」シートと「金融除く」シートに分かれています(収録項目は同じです)。

収録期間

1977 年～2021 年 (45 年分)

収録項目 (証券コード昇順でソートされている)

データ名称	単位	項目説明
1 リバランス日付		yyyymmdd 形式。8 月最終証券営業日が入る。
2 FDS 会社コード		会社を表す 7 桁コード。
3 証券コード		4 桁コード。証券コードの変更・再附番などもそのまま収録。
4 銘柄名		「リバランス日付」(項番 1) 時点の銘柄名を収録。
5 FF ベンチマーク番号		1 … Small Low 2 … Small Medium 3 … Small High 4 … Big Low 5 … Big Medium 6 … Big High
6 金融分類		0 … 一般事業会社 1 … 金融会社
7 東証場部		0 … (非上場) 1 … 東証 1 部 2 … 東証 2 部 6 … JASDAQ スタンダード (2013 年～) 7 … JASDAQ グロース (2013 年～) 8 … マザーズ (2000 年～)
8 JASDAQ 場部		0 … (非上場) 1 … 店頭登録 (~2004 年) JASDAQ 上場 (2005 年～2010 年) JASDAQ スタンダード(内国株) (2011 年～2012 年) 2 … JASDAQ グロース(内国株) (2011 年～2012 年) 3 … 店頭管理 (~2004 年) 8 … NEO (2005 年～2010 年)
9 ヘラクレス場部		0 … (非上場) 4 … スタンダード内国株(2000 年～2010 年) 8 … グロース内国株(2000 年～2010 年)
10 時価総額	[円]	「株価」(項番 11) × 「普通株発行済株式数」(項番 12)。
11 株価	[円]	厚生年金評価価格に準拠した評価株価。
12 普通株発行済株式数	[株]	優先株等の種類株式を除いた普通株ベースの発行済株式数。
13 B/P	[－]	「自己資本」(項番 14) ÷ 「時価総額」(項番 10)。
14 自己資本	[円]	「リバランス日付」(項番 1) 時点で公表されている最新実績自己資本。 1994 年 8 月以前のリバランスは単独実績自己資本、1995 年 8 月以降のリバランスは連結実績自己資本。 2006 年 8 月以降のソート月における連結実績自己資本は、2006 年 5 月

	<p>1日施行の新会社法に対応し、以下の定義とする。</p> <p>連結実績自己資本 = 純資産 - 新株式申込証拠金 - 新株予約権 - 少数株主持分</p> <p>2011年8月以降のソート月において、2011年3月期以降の本決算でIFRS基準に基づく財務諸表のみを開示した銘柄についてはIFRS基準を採用し、実績自己資本を以下の定義とする。</p> <p>連結実績自己資本 = 親会社の所有者に帰属する資本</p> <p>なお、IFRS基準とあわせて既存の連結会計基準に基づく財務諸表が並行開示された場合は、既存の連結会計基準(日本基準または米国会計基準)を採用する。</p> <p>2017年8月以降のソート月においては会計基準間の優先順位を変更し、IFRS > SEC基準 > 日本基準とする。</p>
--	--

FF3 市場拡張版のベンチマーク分類方法

ベンチマーク分類方法は、原則、「久保田敬一、竹原均、(2007)「Fama-French ファクターモデルの有効性の再検証」」の論文に従っている。構成銘柄ユニバースとして、東証1部+東証2部に加え、新興市場銘柄を追加して計算した。

ソート月(リバランス月) 毎年8月末営業日

銘柄ユニバース

タイプ	ソートユニバース	構成銘柄ユニバース
金融含む	東証1部(金融含む)	東証1部+東証2部+東証マザーズ+大証ヘラクレス+JASDAQ(金融含む)
金融除く	東証1部(金融除く)	東証1部+東証2部+東証マザーズ+大証ヘラクレス+JASDAQ(金融除く)

- ※ 金融の定義は、東証33業種分類で「銀行」・「証券」・「保険」・「その他金融」に属する銘柄とする。
- ※ また、以下の条件に該当する銘柄は、「ソートユニバース」および「構成銘柄ユニバース」から除外する。
 - ソート月の月末営業日(毎年8月末営業日)に実績自己資本がマイナス、あるいはN/Aの銘柄
 - (1995年8月以降のソート月に関して)連結決算を発表していない銘柄
 - JREIT、ETF、優先出資証券、上場新株、種類株、監理・整理ポスト銘柄
- ※ 東証マザーズは2000年8月以降のソートで有効。
- ※ 大証ヘラクレスは、2000年8月～2010年8月のソート期間で有効(2002年12月16日より前はナスダック・ジャパン)。
- ※ JASDAQ(2004年12月10日以前は店頭市場)は1987年8月以降のソートで有効(NEO市場含む)。2013年7月16日以降は東証JASDAQ市場へ変更。

ベンチマークの分類手順

- (1) 上記の「ソートユニバース」の銘柄群を「時価総額」(項番10)の小さい順に並べ、時価総額の中央値(Median)を算定。
- (2) 同じく、「ソートユニバース」の銘柄群を「B/P」(項番13)の小さい順に並べ、30%点、70%点に相当するB/P値を算定。
- (3) 上記の「構成銘柄ユニバース」に(1)(2)の境界値を適用して、時価総額で2分類、B/Pで3

分類、計 6 分類に分け、各ベンチマークに属する銘柄を決定する。

1. 時価総額 \leq (1)の中央値 かつ B/P \leq (2)の 30%点値 → 「**Small Low**」銘柄
2. 時価総額 \leq (1)の中央値 かつ (2)の 30%点値 $<$ B/P \leq (2)の 70%点値
→ 「**Small Medium**」銘柄
3. 時価総額 \leq (1)の中央値 かつ B/P $>$ (2)の 70%点値 → 「**Small High**」銘柄
4. 時価総額 $>$ (1)の中央値 かつ B/P \leq (2)の 30%点値 → 「**Big Low**」銘柄
5. 時価総額 $>$ (1)の中央値 かつ (2)の 30%点値 $<$ B/P \leq (2)の 70%点値
→ 「**Big Medium**」銘柄
6. 時価総額 $>$ (1)の中央値 かつ B/P $>$ (2)の 70%点値 → 「**Big High**」銘柄

1. Small Low (SL)	4. Big Low (BL)	B/P の 30%点値
2. Small Medium (SM)	5. Big Medium (BM)	
3. Small High (SH)	6. Big High (BH)	B/P の 70%点値

時価総額の中央値 (Median)

③ FF5 (Fama-French 3 ファクター + Profitability + Investment モデル)

… 「FF5_Factors」フォルダ

Excel ファイル名

「FF5 リバランス時銘柄リスト_YYYYMM.xls」 (全 43 ファイル)

- ※ Excel ファイルは年ごとに分かれ、ファイル名の「YYYYMM」に該当年月が入ります。リバランスは常に 8 月末のため、常に「MM」=「08」となります。
- ※ 各 Excel ファイルは 6 シートに分かれています。収録項目は「FF ベンチマーク番号」(項番 5) と項番 11 以降はファクターによって異なり、それ以外は共通です。
 - ファクター Size × BM で分類したシート
「Size×BM(金融含む)」、「Size×BM(金融除く)」
 - ファクター Size × Profitability で分類したシート
「Size×OP(金融含む)」、「Size×OP(金融除く)」
 - ファクター Size × Investment で分類したシート
「Size×Inv(金融含む)」、「Size×Inv(金融除く)」
- ※ 全ファクターが計算可能な銘柄でユニバースを構成するため、金融含むの 3 シート、金融除くの 3 シートの銘柄はそれぞれ同じです。

収録期間

1978 年～2021 年 (44 年分)

収録項目 (証券コード昇順でソートされている) (全シート共通)

データ名称	単位	項目説明
1 リバランス日付		yyyymmdd 形式。8 月最終証券営業日が入る。
2 FDS 会社コード		会社を表す 7 桁コード。
3 証券コード		4 桁コード。証券コードの変更・再附番などもそのまま収録。
4 銘柄名		「リバランス日付」(項番 1) 時点の銘柄名を収録。
6 金融分類		0 … 一般事業会社 1 … 金融会社
7 東証場部		1 … 東証 1 部 2 … 東証 2 部
8 時価総額	[円]	「株価」(項番 9) × 「普通株発行済株式数」(項番 10)。
9 株価	[円]	厚生年金評価価格に準拠した評価株価。
10 普通株発行済株式数	[株]	優先株等の種類株式を除いた普通株ベースの発行済株式数。

収録項目 (Size × BM で分類したシート)

データ名称	単位	項目説明
5 FF ベンチマーク番号		1 … Small Low 2 … Small Medium 3 … Small High 4 … Big Low 5 … Big Medium 6 … Big High
11 B/P	[－]	「自己資本」(項番 12) ÷ 「時価総額」(項番 8)。
12 自己資本	[円]	「リバランス日付」(項番 1) 時点で公表されている最新実績自己資本。 1994 年 8 月以前のリバランスは単独実績自己資本、1995 年 8 月以降のリバランスは連結実績自己資本。 2006 年 8 月以降のソート月における連結実績自己資本は、2006 年 5 月 1 日施行の新会社法に対応し、以下の定義とする。 連結実績自己資本 =

		<p>純資産 - 新株式申込証拠金 - 新株予約権 - 少数株主持分</p> <p>2011年8月以降のゾート月において、2011年3月期以降の本決算でIFRS基準に基づく財務諸表のみを開示した銘柄についてはIFRS基準を採用し、実績自己資本を以下の定義とする。</p> <p>連結実績自己資本 = 親会社の所有者に帰属する資本</p> <p>なお、IFRS基準とあわせて既存の連結会計基準に基づく財務諸表が並行開示された場合は、既存の連結会計基準(日本基準または米国会計基準)を採用する。</p> <p>2017年8月以降のゾート月においては会計基準間の優先順位を変更し、IFRS > SEC基準 > 日本基準とする。</p>
--	--	--

収録項目 (Size × Profitability で分類したシート)

データ名称	単位	項目説明
5 FFベンチマーク番号		1 ... Small Weak 2 ... Small Medium 3 ... Small Robust 4 ... Big Weak 5 ... Big Medium 6 ... Big Robust
11 利払後自己資本営業利益率	[-]	(「直近実績営業利益」(項番 12) - 「直近実績支払利息割引料」(項番 13)) / 「2 期前実績自己資本」(項番 15) ÷ 「直近実績決算月数」(項番 14) × 12。
12 直近実績営業利益	[円]	「リバランス日付」(項番 1)時点で公表されている最新実績営業利益。1994年8月以前のリバランスは単独実績営業利益、1995年8月以降のリバランスは連結実績営業利益。
13 直近実績支払利息割引料	[円]	「リバランス日付」(項番 1)時点で公表されている最新実績支払利息割引料。1994年8月以前のリバランスは単独実績支払利息割引料、1995年8月以降のリバランスは連結実績支払利息割引料。金融は常に0。
14 直近実績決算月数	[ヶ月]	「リバランス日付」(項番 1)時点で公表されている最新実績決算月数。1994年8月以前のリバランスは単独実績決算月数、1995年8月以降のリバランスは連結実績決算月数。
15 2期前実績自己資本	[円]	「リバランス日付」(項番 1)時点で公表されている2期前実績自己資本。1994年8月以前のリバランスは2期前単独実績自己資本、1995年8月以降のリバランスは2期前連結実績自己資本。

収録項目 (Size × Investment で分類したシート)

データ名称	単位	項目説明
5 FFベンチマーク番号		1 ... Small Conservative 2 ... Small Medium 3 ... Small Aggressive 4 ... Big Conservative 5 ... Big Medium 6 ... Big Aggressive
11 総資産増加率	[-]	(「直近実績総資産」(項番 12) ÷ 「2 期前実績総資産」(項番 14)) ^ (12 ÷ 「決算月数」(項番 13)) - 1。
12 直近実績総資産	[円]	「リバランス日付」(項番 1)時点で公表されている最新実績総資産。1994年8月以前のリバランスは単独実績総資産、1995年8月以降のリバランスは連結実績総資産。
13 直近実績決算月数	[月]	「リバランス日付」(項番 1)時点で公表されている最新実績決算月数。1994年8月以前のリバランスは単独実績決算月数、1995年8月以降のリバランスは連結実績決算月数。

14	2期前実績総資産	[円]	「リバランス日付」(項番 1)時点で公表されている2期前実績総資産。 1994年8月以前のリバランスは単独2期前実績総資産、1995年8月以降のリバランスは連結2期前実績総資産。
----	----------	-----	--

FF5 のベンチマーク分類方法

ベンチマーク分類方法は、原則、「久保田敬一、竹原均、(2007)「Fama-French ファクターモデルの有効性の再検証」」の論文に従っている。

追加2ファクターの定義はワーキングペーパー「Eugene F. Fama and Kenneth R. French, 2013, A Five-Factor Asset Pricing Model」の記述と日本のデータ入手可能性より以下の通りとした。

$$\begin{aligned} \text{Profitability(OP)} &= (\text{直近実績営業利益} - \text{直近実績支払利息割引料}) / \text{直近実績自己資本} && \text{(一般事業会社)} \\ &= \text{直近実績営業利益} / \text{直近実績自己資本} && \text{(金融業)} \end{aligned}$$

$$\text{Investment(Inv)} = (\text{直近実績総資産} - \text{2期前実績総資産}) / \text{2期前実績総資産}$$

ソート月(リバランス月) 毎年8月末営業日

銘柄ユニバース

タイプ	ソートユニバース	構成銘柄ユニバース
金融含む	東証1部(金融含む)	東証1部+東証2部(金融含む)
金融除く	東証1部(金融除く)	東証1部+東証2部(金融除く)

※ 金融の定義は、東証 33 業種分類で「銀行」・「証券」・「保険」・「その他金融」に属する銘柄とする。

※ また、以下の条件に該当する銘柄は、「ソートユニバース」および「構成銘柄ユニバース」から除外する。

- ソート月の月末営業日(毎年8月末営業日)に直近実績自己資本、2期前実績自己資本、直近実績総資産、2期前実績総資産、直近実績営業利益の何れかが N/A
- 金融でなく直近実績支払利息割引料が N/A
- 直近実績自己資本、2期前実績自己資本の何れかが 0 以下
- (1995年8月以降のソート月に関して)連結決算を発表していない銘柄
- JREIT、ETF、優先出資証券、上場新株、種類株、監理・整理ポスト銘柄

ベンチマークの分類手順 (Size × BM)

- (1) 上記の「ソートユニバース」の銘柄群を「時価総額」(項番 8)の小さい順に並べ、時価総額の中央値(Median)を算定。
- (2) 同じく、「ソートユニバース」の銘柄群を「B/P」(項番 11)の小さい順に並べ、30%点、70%点に相当する B/P 値を算定。
- (3) 上記の「構成銘柄ユニバース」に(1)(2)の境界値を適用して、時価総額で2分類、B/P で3分類、計6分類に分け、各ベンチマークに属する銘柄を決定する。

1. 時価総額 ≤ (1)の中央値 かつ B/P ≤ (2)の30%点値 → 「**Small Low**」銘柄
2. 時価総額 ≤ (1)の中央値 かつ (2)の30%点値 < B/P ≤ (2)の70%点値
→ 「**Small Medium**」銘柄
3. 時価総額 ≤ (1)の中央値 かつ B/P > (2)の70%点値 → 「**Small High**」銘柄

4. 時価総額 > (1)の中央値 かつ B/P ≤ (2)の 30%点値 → 「**Big Low**」銘柄
5. 時価総額 > (1)の中央値 かつ (2)の 30%点値 < B/P ≤ (2)の 70%点値
→ 「**Big Medium**」銘柄
6. 時価総額 > (1)の中央値 かつ B/P > (2)の 70%点値 → 「**Big High**」銘柄

1. Small Low (SL)	4. Big Low (BL)	B/P の 30%点値
2. Small Medium (SM)	5. Big Medium (BM)	
3. Small High (SH)	6. Big High (BH)	B/P の 70%点値

時価総額の中央値 (Median)

ベンチマークの分類手順 (Size × Profitability)

Size × BM の説明を以下の通り読み替える。

- B/P → 利払後自己資本営業利益率
 Low → Weak
 High → Robust

ベンチマークの分類手順 (Size × Investment)

Size × BM の説明を以下の通り読み替える。

- B/P → 総資産増加率
 Low → Conservative
 High → Aggressive

④ FF5×5 (5(SIZE)×5(BP)で分割したモデル)

… 「FF5×5_Factors」フォルダ

Excel ファイル名

「FF5×5 リバランス時銘柄リスト_YYYYMM.xls」 (全 44 ファイル)

※ Excel ファイルは年ごとに分かれ、ファイル名の「YYYYMM」に該当年月が入ります。リバランスは常に 8 月末のため、常に「MM」=「08」となります。

※ 各 Excel ファイルは、「金融含む」シートと「金融除く」シートに分かれています(収録項目は同じです)。

収録期間

1977 年～2021 年 (45 年分)

収録項目 (証券コード昇順でソートされている)

データ名称	単位	項目説明
1 リバランス日付		yyyymmdd 形式。8 月最終証券営業日が入る。
2 FDS 会社コード		会社を表す 7 桁コード。
3 証券コード		4 桁コード。証券コードの変更・再附番などもそのまま収録。
4 銘柄名		「リバランス日付」(項番 1) 時点の銘柄名を収録。
5 SIZE 分類番号		ソートユニバース(東証 1 部)の中で時価総額の小さい順に等銘柄数で 5 分位に分けた時の分位番号。 1 … 第 1 分位に属する銘柄 (時価総額が一番小さい分位) 2 … 第 2 分位に属する銘柄 3 … 第 3 分位に属する銘柄 4 … 第 4 分位に属する銘柄 5 … 第 5 分位に属する銘柄 (時価総額が一番大きい分位)
6 BP 分類番号 (逐次ソート時)		ソートユニバース(東証 1 部)の中で、「SIZE 分類番号」(項番 5)で 5 分位分けされたそれぞれの分類ユニバースの中で更に B/P 値の小さい順に等銘柄数で 5 分位に分けた時の分位番号。 1 … 第 1 分位に属する銘柄 (B/P 値が一番小さい分位) 2 … 第 2 分位に属する銘柄 3 … 第 3 分位に属する銘柄 4 … 第 4 分位に属する銘柄 5 … 第 5 分位に属する銘柄 (B/P 値が一番大きい分位) ※ 時価総額の分類分けの後にそれぞれを B/P で分類する、という手順を踏むので、「BP 分類番号」は時価総額の数値にも依存する。
7 BP 分類番号 (独立ソート時)		ソートユニバース(東証 1 部)の中で B/P 値の小さい順に等銘柄数で 5 分位に分けた時の分位番号。 1 … 第 1 分位に属する銘柄 (B/P 値が一番小さい分位) 2 … 第 2 分位に属する銘柄 3 … 第 3 分位に属する銘柄 4 … 第 4 分位に属する銘柄 5 … 第 5 分位に属する銘柄 (B/P 値が一番大きい分位) ※ 時価総額とは独立して B/P 値で分類するので、「BP 分類番号」は時価総額の数値には依存しない。
8 金融分類		0 … 一般事業会社 1 … 金融会社

「日本上場株式 Fama-French リバランス時銘柄リスト」

9	東証場部		1 … 東証 1 部 2 … 東証 2 部
10	時価総額	[円]	「株価」(項番 11) × 「普通株発行済株式数」(項番 12)。
11	株価	[円]	厚生年金評価価格に準拠した評価株価。
12	普通株発行済株式数	[株]	優先株等の種類株式を除いた普通株ベースの発行済株式数。
13	B/P	[－]	「自己資本」(項番 14) ÷ 「時価総額」(項番 10)。
14	自己資本	[円]	<p>「リバランス日付」(項番 1)時点で公表されている最新実績自己資本。 1994年8月以前のリバランスは単独実績自己資本、1995年8月以降の リバランスは連結実績自己資本。 2006年8月以降のソート月における連結実績自己資本は、2006年5月 1日施行の新会社法に対応し、以下の定義とする。</p> <p>連結実績自己資本 = 純資産 - 新株式申込証拠金 - 新株予約権 - 少数株主持分</p> <p>2011年8月以降のソート月において、2011年3月期以降の本決算で IFRS基準に基づく財務諸表のみを開示した銘柄についてはIFRS基準 を採用し、実績自己資本を以下の定義とする。</p> <p>連結実績自己資本 = 親会社の所有者に帰属する資本</p> <p>なお、IFRS基準とあわせて既存の連結会計基準に基づく財務諸表が並 行開示された場合は、既存の連結会計基準(日本基準または米国会計 基準)を採用する。</p> <p>2017年8月以降のソート月においては会計基準間の優先順位を変更 し、IFRS > SEC基準 > 日本基準とする。</p>

FF5×5のベンチマーク分類方法

ベンチマーク分類方法は、ソートユニバースについて SIZE→BP の順番に分類を決定する「逐次ソート」と、SIZEとBPについてそれぞれ独立で分類を決定する「独立ソート」の2通りのソート方法で、25分類(SIZE5分類×BP5分類)に属する銘柄を決定している。

- ※ 逐次ソート → SIZEとBPを5分割する際、まずSIZEで5分割した後、分割後の5つのユニバースそれぞれの中でBPの5分割を実施
- ※ 独立ソート → SIZEとBPを5分割する際、SIZE・BPそれぞれ独立で境界値を決定

ソート月(リバランス月) 毎年8月末営業日

銘柄ユニバース

タイプ	ソートユニバース	構成銘柄ユニバース
金融含む	東証1部(金融含む)	東証1部+東証2部(金融含む)
金融除く	東証1部(金融除く)	東証1部+東証2部(金融除く)

- ※ 金融の定義は、東証 33 業種分類で「銀行」・「証券」・「保険」・「その他金融」に属する銘柄とする。
- ※ また、以下の条件に該当する銘柄は、「ソートユニバース」および「構成銘柄ユニバース」から除外する。
 - ソート月の月末営業日(毎年8月末営業日)に実績自己資本がマイナス、あるいはN/Aの銘柄
 - (1995年8月以降のソート月に関して)連結決算を発表していない銘柄
 - JREIT、ETF、優先出資証券、上場新株、種類株、監理・整理ポスト銘柄

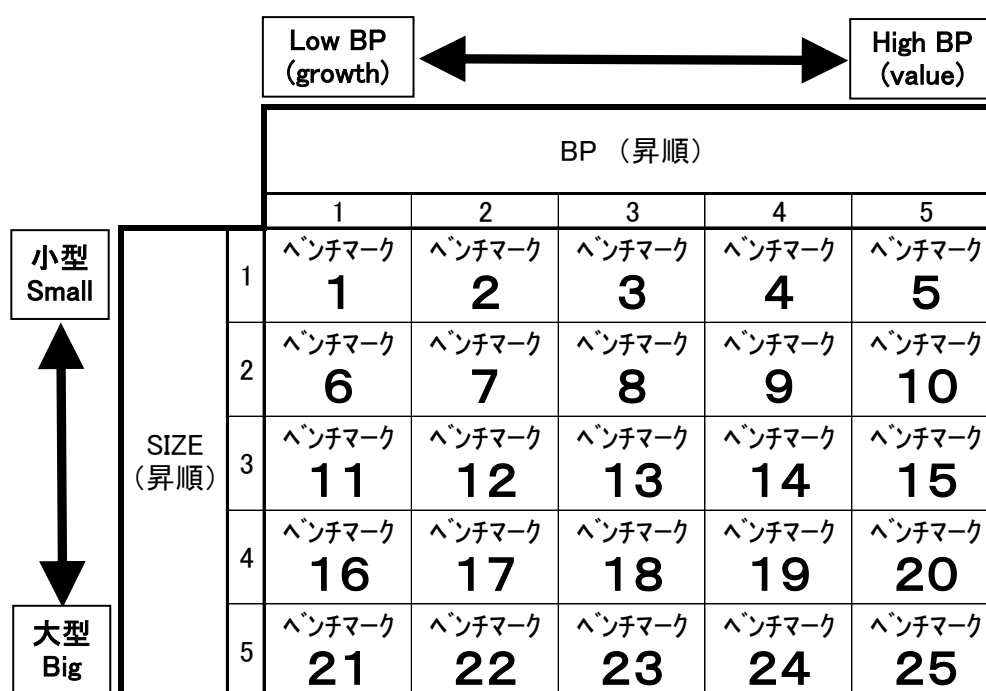
ベンチマークの分類手順

逐次ソート版

- (1) 上記の「ソートユニバース」の銘柄群を「時価総額」(項番 10)の小さい順に並べ、各分位が等銘柄数になるように 5 分割し、分割境界点の時価総額を算定。
- (2) (1)で 5 分割された 5 つのユニバースのそれぞれについて、「B/P」(項番 13)の小さい順に並べ、各分位が等銘柄数になるように 5 分割し、分割境界点の B/P 値を算定。
- (3) 上記の「構成銘柄ユニバース」に(1)(2)の境界点の値を適用して、時価総額で 5 分類、B/P で 5 分類、計 25 分類に分け、各ベンチマークに属する銘柄を決定する。

独立ソート版

- (1) 上記の「ソートユニバース」の銘柄群を「時価総額」(項番 10)の小さい順に並べ、各分位が等銘柄数になるように 5 分割し、分割境界点の時価総額を算定。
- (2) 同じく、「ソートユニバース」の銘柄群を「B/P」(項番 13)の小さい順に並べ、各分位が等銘柄数になるように 5 分割し、分割境界点の B/P 値を算定。
- (3) 上記の「構成銘柄ユニバース」に(1)(2)の境界点の値を適用して、時価総額で 5 分類、B/P で 5 分類、計 25 分類に分け、各ベンチマークに属する銘柄を決定する。



以 上。

※ 本資料は、「日本上場株式 Fama-French リバランス時銘柄リスト」の仕様書です。提供する各種加工データは、信頼できると思われるデータソースから十分な注意を払い、加工・作成しておりますが、その完全性・正確性を保証するものではありません。また、本情報の利用によって生じた直接的又は間接的な損害については、その内容、態様の如何を問わず、弊社はその一切の責任を負うものではありません。